

事業所名

門真市立こども発達支援センター  
(地域支援グループ)

## 支援プログラム(放課後等デイサービス集団療育)

作成日

2025 年

4 月

10 日

法人（事業所）理念	【晋栄福祉会】情熱をもち行動する 前進と振り返り、時に回り道もある、あらゆる工夫で、いろいろな方法で、よくコミュニケーションをとり連携する すべては地域に住む人々と自らの幸福と福祉のために 【治栄会】「すべての人たちが すべてのことに感謝でき 和やかで楽しい日々と まろやかで幸せな人生を おくれますように 念じております」を掲げ、すべての人の幸せを職員とともに追求する日々を重ねております。 【愛光会】地域に対し総合的な医療・福祉支援システムを作り、利用者をどんなに重い障がいがあろうとも挑戦していく人と位置付け、利用者にとってごく普通の当たり前の生活を支援することに努めてまいります。							
	①『気になる段階』からの早期支援：こども健やかな成長のためには身心の発達が目覚ましい乳幼児期に、「より良い環境」を整え、適切に療育を進めることが重要といえます。そのことから、保健・医療・福祉・教育等の関係期間や地域と密着に連携し、「気になる段階」から支援に努めてまいります。 ②的確なアセスメントに基づいた療育：発達の気になる子どもの一人ひとりの個性やニーズを的確に把握し、可能性を最大限に伸ばすことができる療育を目指します。さらに施設の持つ専門性を地域に還元し、地域療育の支援につなげていきます。 ③こどもと家族のエンパワメント支援と、ライフステージに応じた一貫性のある支援：発達の気になるこどもやその家族が、その能力や生きる力を発揮し、主体的に社会生活が営めるよう、こどもの「自ら伸びる力」と保護者の「子どもの育ちを支える力」引き出す支援を行います。合わせて、地域で意欲ある生活が送れるよう、障がい児支援の啓発を行い、地域の理解を高めるための活動に努めています。そして発達の気になるこどもがこころの豊かな地域生活を送れるよう、各関係機関と協同・連携し、こどものライフステージ全般を見通した総合的な支援につなげていきます。 ④これまでの慣習にとらわれず一步前進（イノベーション）：こどもや家庭を取り巻く環境は日々変化しています。そこで、より良い支援を提供するためには、これまでの慣習や枠組みにとらわれず、新たな視点や方法を積極的に取り入れる柔軟さが必要です。私たちは、柔軟で創造的なアプローチを追求し、こどもが可能性を最大限に発揮できる未来を目指して、一步前進することに努(つと)めてまいります。							
営業時間	8 時 30 分から 17 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし				
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	検温や手洗い、手指消毒等の健康管理や体調の把握に努めます。排泄や食事、衣類の着脱等の日常動作でできることを増やし、身辺自立に繋がる支援に取り組みます。私物整理を通して自分の物と他者の物との区別がつけられるようよう支援します。日用品や玩具の片付け等、日常生活に活用できることを目指した支援の提供や補助を行います。						
	運動・感覚	運動や散歩等、体全体を使う活動により、体のバランスや体をコントロールする力を養い、粗大運動の発達を促します。パズルや知育玩具遊び、工作道具を扱う活動等から巧緻性を高めます。農作物を栽培したり、自然との触れ合いを行うことで命の大切さ、食育を学び、自然や季節感に触れることで情緒を育むことに努めます。						
	認知・行動	言語や記憶力を育む認知トレーニングを提供し、ルール理解や感情コントロールを促進することで、自己理解を深める支援を行います。具体物や絵カード、写真を用いた課題、プリント学習を通じて、数の操作や形、大きさ、時間などの概念を習得します。活動の始まりと終わりを明確にし、見通しを持てるようスケジュールやタイムタイマーで知らせ、時間を意識した行動することを支援します。視覚刺激を抑えた環境を提供するため、パーテイションや個別の部屋を用意し、感覚特性に配慮します。						
	言語 コミュニケーション	自分の希望や要望を伝えたり、助けを求めたりするなど、自分を大切にするための行動を生活の中で実践できるよう支援します。絵カードや身振り、文字を活用し、子どもの特徴やニーズに応じたコミュニケーション手段を提供します。プリント学習を通して文字を読み書きする力を育むとともに、遊びの中で他者とのやり取りを練習します。専門職や保育士が見本を示したり助言を行うことで、スムーズなコミュニケーションの習得を支援します。						
	人間関係 社会性	小集団の中で遊びや活動を通して、場の共有、順番を守る、ルールに従う、他者と協力する、失敗や負けを受け入れるといったスキルを育成する機会を提供します。友達との関わり方について、専門職や保育士が見本を示し、助言を行うことで、肯定的な関わりを増やす支援を行います。また、地域生活を安心・安全に過ごすための基礎的な社会スキルの習得を目指します。						
家族支援	家族が支援の様子を見学できる機会を設けます。また、保護者が困りごとを相談できる環境を整えます。児童発達支援管理責任者や保育士が随時相談に応じ、家庭での対応についてアドバイスを提供します。また、子どもの支援状況を共有することで、ご家庭との連携を深めます。	移行支援	学校での子どもの様子を実際に見学し、学校での支援方法や子どもの状態について、保護者や関係機関と情報を共有します。子どもに必要な支援方針を協議し、家庭や地域との連携を深めることで、学校生活へのスムーズな意向を目指します。また、学校との情報交換を通じて、地域生活の中でのサポートが一貫性を持つて行われるよう支援します。					
地域支援・地域連携	地域支援・地域連携を通じて、子どもの成長を支えるための専門的なサポートを提供します。保護者、学校、医療機関と連携し、療育や生活支援を充実させます。地域の中で安心して生活できる環境を整えます。また、発達特性への理解を深めるための啓発活動を行います。	職員の質の向上	内部研修や外部研修への積極的な参加を推進し、職員の専門性向上を図ります。公開療育やケース検討会議を定期的に実施し、職員間の情報共有やスキルアップを促進します。また、支援の質を向上させるため、最新の知見や実践方法を導入します。					
主な行事等	具体的な行事内容については、対象となる子どもや家族のニーズに応じて計画し、地域資源を活用した多様なプログラムを提供します。							